



【 3学期の健康づくり 】

○ オミクロン株の流行で、全国的に感染が拡大し、第6波が来ています。小学生の感染も第5波のときより圧倒的に多く、クラスターも発生している例もあります。ニュースでも言われていますが、オミクロン株の怖さは、感染力の強さもありますが、社会活動を止めることがクローズアップされています。感染者数が増えると、それだけ濃厚接触者が増え、短縮になったとはいえ、10日間の自宅待機をする必要があるため、場合によっては、学級閉鎖もあり得ます。恐ろしいのは、複数の教員が濃厚接触者になった場合、教員の絶対数が足りなくなり、臨時休業の危険性もあり得ることです。したがって、中学校の入学説明会や保育園の半日入学等、予定していた教育活動の変更をせざるを得ない状況となっていることをご理解いただきたいと思います。

○ そのような中で、校内の感染対策を徹底し、感染リスクを減らしながら健康づくりに取り組んでいこうと思います。例えば、3学期のスーパーチャレンジでは、



今日から短縄跳びを行いました。体育館、プレールーム、廊下に分かれてやります。運動委員の子供が校内放送で、「30秒間跳び」の進行をします。子供たちは「縄跳びカード」や「チャレンジ3015」に沿って、自分で種目を決めて縄跳びをします。終わったら、石けんで手洗い（行動目標）等を行います。

○ また、1月21日（金）から、スキルタイム（8時15分～25分）に「ほっとあっとなんと体操」を行います。**南砺市の歌「緑の里」のメロディーに合わせて朝から楽しく体を動かし、健康な体をつくる**ことがねらいです。また、「ふるさと教育」の一環でもあります。各教室で、電子黒板に映っている運動委員の子供が体操している動画を見ながら、体を動かします。

○ 今年度の様子を見ていて、井波小学校では「ほっとあっとなんと体操」を一度もやることがなかったことを、私は大変気にしていました。市内の小学校では、運動会や7月10日の「なんとの日」等の機会を利用して、この体操をしている学校が多いです。私は、この「ほっとあっとなんと体操」は、**南砺市の自慢**だと思っています。**ふるさと南砺を誇りに思う心がさらに育つ**ためにも、今週から実施していきます。